

平成29年度 磐田市立豊田北部小学校 ”前期”学校評価書

☆磐田市共通評価項目

重点	目標・取組	評価指標(市:目標値)	自己評価	学校関係者	H29前期評価 4の%	H29前期評価 「4+3」の%	H28後期評価 「4+3」の%	H28前期評価 「4+3」の%	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学年 学校 級 経営	「夢をもち きらきら輝く子」 を育む学校を目指す。	◎1(学校教育目標) 学習や行事に一生懸命に取り組んでいる。 (夢をもちきらきら輝く子)(児童)	○	教師	45.5	100	95.7	100	評価項目1 昨年度から学校教育目標を新しくしたため取り入れた項目である。子供の評価も高く、学習も運動会などの行事にも意欲的に取り組んだため、90パーセントを超えることができています。 評価項目2 保護者の評価を▲としたのは目標の89%には届かなかったためである。ただ、H28と比較して数値が向上しており、子供の姿や学校方針が伝わってきている。今後も学年だよりやホームページで子どもの目指す姿を説明することを継続していく。 評価項目3 保護者の評価が目標の92%を超えることができた。H28と比較しても数値が向上している。子どもの「4の%」も70%近くある。今後も子供や保護者の話をよく聞きながら指導していきたい。 評価項目4 児童で目標値を超えることができた。H28と比較しても上がってきている。保護者の評価もH28前期から2%向上してきている。今後もさらに子供が楽しいと思えるように、授業づくりや学級経営に力を入れていきたい。	3、4先生と子供の関係を厳しくしてはどうか。スポーツも授業も同じである。 4子供の評価が良く、楽しく学校生活を送っていることが分かる。 4、13地域にも学校にも満足している。今後は地域と職員との関係をどうしていけばよいか課題である。 4、10地道で時間のかかる指導が大切である。自分の命を大切に教育をしてほしい。 5、6指導の充実、授業改善の視点だと思ふ。教師の「4の%」が低いのは自分自身の指導を厳しく見つめ、高い目標をもっているからだと思ふが、授業研究の中で改善されたことや納得できた授業があったかを考えたい。 5、10教師の評価が低いことをどう感じているのか、教師の意識を知りたい。
			○	児童	62.5	93.4	94.1	93.3		
			○	保護者	42.0	90.5	90.6	92.2		
		○	教師	27.3	100	100	95.2			
			児童							
		▲	保護者	21.6	86.9	82.9	83.4			
		○	教師	50.5	100	100	95.2			
			児童	69.8	94.5	96.1	95.5			
		○	保護者	39.3	92.7	91.1	89.0			
			教師	45.5	100	100	100			
	児童	61.2	91.0	87.6	90.3					
	保護者	55.8	96.7	95.9	94.4					
学ぶ 喜び ・分 かる 授業 づくり の 楽し さが	・しっかり聴いて考え、高め合おう ・学習の習慣を身に付けよう	☆5 子供たちは学習内容をおおむね理解している。(教師85%、保護者) 授業の内容がよく分かる(児童:91%)		教師	0	90.5	87.0	76.2	評価項目5 児童が92.6%と目標値(91%)を超えることができた。教師と保護者の「4の%」評価が低いのは、確実に理解するところまではいっていないと評価が厳しいためであろう。「子供が分かった・できた授業」になるよう今後も研修に取り組んでいきたい。 評価項目6 目標値(77%)と比べると児童評価が高く、H28に比べて5%以上上がっている。ただ教師が「4の評価」13.6%と低い。今後は授業で主体的、対話的で深い学びになるような授業を意識して研修を進め、自信をもって工夫した授業をしていると答えることができるようにしていきたい。 評価項目7 目標値(88%)を超えることができた。これからの国際社会に向けて今後も外国語の学習や活動に力を入れていきたい。また、中学校の英語担当の教員とも連携を図り、小中でつながる指導をしていきたい。	5、6、10教師が目標をもって厳しくとらえている。向上心をもって取り組んでほしい。 5、6、11の教師の「4の%」が低いのはプラスの評価として考えてもよいのではないかと。 8「相談できる友達や先生がいる」は、ぜひ100%を目指したい項目である。 10朝の集団登校では、挨拶ができるようになってきたり、出発がスムーズになってきたりしている。 10思いやりの心では何を基準にして評価しているのか。道徳で教える善悪と実際の行動とできるだけ一致させたい。 10優しい言葉遣いでは、優しい言葉を子供にどう教えているのか、どう保護者に伝えているのかを知りたい。
			○	児童	56.1	92.6	90.2	91.0		
				保護者	26.7	85.5	84.8	85.6		
			教師	13.6	100	100	95.2			
		○	児童	53.1	88.9	82.6	83.3			
		○	保護者	35.3	92.7	92.0	91.1			
			教師							
	児童	72.2	90.7	86.9	88.7					
	保護者									
大切 にする 心 根 づく り	・進んであいさつをしよう 返そう ・気持ちのよい生活をしよう	☆8 学校で困ったときに相談できる友達や先生がいる(児童:90%)		教師					評価項目8 目標値を超えることが出来ている。また「4の評価」も75%と高い。今後も子供たち一人一人に目を向け、子供同士で協力し合うことのできる学校・学級にしていきたい。 評価項目9 児童の目標値(85%)は達成できたが、H28に比べて下がってきている。教師の評価も下がっている。名札や帽子、時間等についてのルールを守れていない子供が見られる。教師が子供たちとルールの内容と必要性を共有しながら指導していく。 評価項目10 子供は90%以上が自分で優しい言葉を使うことができると答えている。教師の68%とは、ずれが大きい。教師の思いを子供に具体的に伝えるとともに、道徳や学級活動などの授業の中で「思いやりの心」について考えていくことの必要性を感じた。	10優しい言葉遣いでは、優しい言葉を子供にどう教えているのか、どう保護者に伝えているのかを知りたい。 10子供たちの思いやりの心について児童と教師の差が大きい。改善策にあるように、子供たちに様々な場面で指導して欲しい。弱者、できない友達に対していじめ、無視などがないように指導して欲しい。 13子供が地域で遊んでいる姿を見かけなくなった。学校が地域と関わるものを作っていけるようにしたい。 13教師の4の評価が30パーセント未満なのが残念。 13挨拶ができる子供が増えている。うれしいことである。 その他 ・4のみの%を出したことが良かった。「4の%」と「4+3の%」の違いの価値をとらえることが大切である。 ・思い出をどんどん作る小学校生活にしてほしい。あいさつと長所を伸ばしていくことが小学校では大切である。
			○	児童	75.2	94.3	95.0	94.6		
				保護者						
		▲	教師	27.3	81.8	95.7	90.5			
			児童	54.7	90.2	91.9	93.0			
			保護者	35.2	91.9	92.3	91.5			
		▲	教師	9.1	68.2	78.3	81.0			
			児童	52.4	90.9	90.6	92.6			
		○	保護者	35.6	88.2	91.3	88.8			
		健康 な 心 と 体 づく り	・自分の体をきたえよう ・自分の体を大切にしよう	11 体力や運動能力を向上させる指導の充実を図っている(教師) 体力を伸ばすため、めあてをもって取り組んでいる(児童)		教師	19.1	90.5		
○	児童				66.7	90.1	85.8	87.2		
	保護者									
○	教師			63.6	100					
○	児童			69.3	91.3	88.5	89.6			
	保護者			34.4	90.7	90.6	91.0			
地域	学校と地域の連携	☆13 子供たちは、地域の人たちと、学校や地域で関わっている。(教師) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。(児童:78%)	○	教師	22.7	90.9	82.6	81.0	評価項目13 児童の評価が目標(78%)と比べて10%以上高い。教師も90%を超えた。地域についての学習を総合的な学習「ようこそ先輩」「歴史探検」等を中心に行ってきた。このような学習を支えていただいているPTAや地域の方の御協力も大きいと考える。	
			○	児童	61.1	88.7	88.0	87.6		
				保護者						